

【応募作品の概要・要旨など】 \*A4 用紙 1 枚にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

作品の名称	※20 文字以内で記入 食べこ防止皿
対象者の領域	※該当する項目( )に○を入れる。 身体障害 (○)、精神障害 ( )、発達障害 (○)、高齢者 (○)、 その他 ( )
自助具の分類	※該当する項目( )に○を入れる。 食事動作 (○)、整容動作 ( )、更衣動作 ( )、排泄動作 ( )、入浴動作 ( )、 コミュニケーション ( )、趣味・余暇活動 ( ) その他 ( )
用具の種類	※該当する項目( )に○を入れる。 工夫・改良品 (○)、個別製作品 ( ) ※ <b>工夫・改良品</b> 市販品を工夫・改良し活用しやすくした物、 <b>個別製作品</b> アイデアから個別に製作したオリジナルな物、とする
応募作品の概要	※作品の目的や効果、特徴、新規性・独創性（オリジナリティー）などを簡潔に記載する。 今回作成の自助具の目的としては、食事にてスプーン操作時、失調の方や両上肢麻痺などにより筋力低下があり、中枢の動きはできるものの末梢での力加減を調節できず、うまく食塊をすくうことが困難な方の食べこぼしを防ぐためのものである。 特徴として、普段使用している食器の片端に透明で硬めのプラスチック製品を取り付けることで、スプーンですくった際に勢いで食塊のこぼれや飛んでいくことを防ぎ擦り切って摂取できるように作成した。返しがついており、スプーンですくいやすくこぼれにくい自助具はあるものの、実際に力の調整が困難な方ではその返しのみでは食べこぼしを防ぐことができなかった経験もあったことから今回の自助具の作成を試みた。
工夫したポイント	・食器に取り付けるプラスチック製品は、透明な物を選択することで何を食べようとしているか視覚的に確認することができるようにした。 ・作成までの時間や費用をおさえ、誰でも身近にあるもので簡単に作成できるような自助具とした。 ・衛生面を考慮し、洗って繰り返し使えるプラスチックを使用した。

利用上の 留意点	※使用上の注意点、耐久性、衛生面といった留意点を記載する。 ・使用する際は、食器の下に滑り止めマットを敷き安定させた状態にする。 ・蓋の安定性が低いためテープなどで止める必要がある。
-------------	---

【応募作品の紹介】 \*A4 用紙 2 枚以内にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

作 製 の 準 備	※使用材質、道具、工具、材料費、などを記載する。 道具：食器、食器蓋、カッター、グルーガン 材料費：500 円以内
-----------------------	---

※作品の外観、作り方・製作過程、活用場面について写真と説明文を用いて記載する。

※画像は最大10枚とし、自助具の特徴や使用状況が分かるような写真を使用する。

## 1. 作品の外観



- ・食材が分かりやすいように食器をシンプルなデザインにする。
- ・外観にも考慮し、半透明のグルーガンを使用する。

## 2. 作り方・製作過程

①使用する食器を選択する。

②その食器の大きさに合わせた蓋を3分の1に切り、食器の上に被せる。

※今回は3分の1の大きさに蓋を設定したが、実際に対象者が使用してみて動作しやすい大きさに設定する。

③蓋の側面を半透明なグルーガンを使用し、隙間なく取り付ける。

3. 活用場面

食事場面で使用する。



応募作品の特徴

<写真の使用に関して> ※該当する項目( )に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合：

⇒対象者に同意を得ている ( )、対象者に同意を得ていない ( )、該当せず ( ○ )

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。